

## 支部だより

### 東京支部

#### 東京支部の現状について

支部長 永 峰 徹

(三高18回卒)

東京支部総会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、令和二年、三年の支部総会開催を中止としました。現状の東京地区の新型コロナウイルス感染症「第7波」の感染状況は、ピークを越したと思われませんが、目に見えて感染者が減少している状況ではありません。

楽しみにして頂いていた会員の皆様には申し訳ありませんが、今年（令和四年）の支部総会も中止を決定しました。

現状の東京支部は、支部総会の参加者が50名程度で現状維持の状況が続いています。この状況を少しでも改善するために、役員の皆様から種々提案を頂き、支部総会にも取り入れてきました。

取り組みの一部を紹介します。1、懇親会の内容充実（ふるさとクイズ、会員による講演会等）2、参加者のコミュニケーション改善（名札に出身町記入、テーブル席の工夫等）3、有志による支部の現状分析。4、若者の支部総会出席体験記を発行。5、日常的な情報交換（Facebookに大中三高会東京支部のコミュニティグループを作成）

以上のような取り組みですが、まだ不足している点も多く、皆様からのご指導をお待ちします。

来年は、ワクチンなどの感染対策が進み、正常な日常生活が戻ると思われます。支部総会を開催し、笑顔で再開したいと思っています。



支部会員による講演会の状況

### 関西支部

#### 夏の甲子園大会ベスト8

支部長 谷 口 廣 重

(三高25回卒)

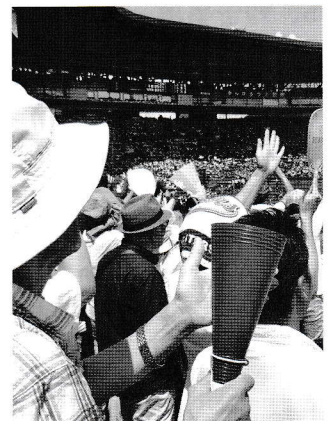
今年の東北勢初優勝の甲子園大会を見て5年前の思い出が蘇りました。母校が公立で唯一のベスト8に勝ち残り、全国に知れ渡った2017年夏のことです。

この甲子園大会に多くの卒業生が応援に駆け付け、三高と大中三高会は大いに盛り上がりました。その影響で関西支部の活動に関与する支部会員が増えました。しかし、その後は活動を支えて頂いた先輩方々が引退し、長引くコロナ禍もあり会員の相互交流など活動が停滞しているのが現状です。

この1年の活動としては会報(支部だより5号)を発行しました。役員会合はリモートを中心に情報交換や交流を行っており、5月には本部と意見交換をしました。また、大阪香川県人会と関西香川県高等学校同窓会連絡協議会(24校)は支部として会員になり、香川県や他高校との交流や情報共有をしています。県人会は本年5月に開催されて支部から3名参加しました。

支部の運営は一部の年代の善意と熱意で成り立っているのが現状ですが、全世代(全学年)で幅広く分担、協力することがあるべき姿とっております。これまで以上に本部と連携して誰もが参加し易い体制作りが急がれると考えております。

新型コロナの収束が未だ見通せませんが、同窓生が甲子園大会で味わった一体感を持って支部活動に気軽に参加し、集える時期が来ることを願っております。



関西支部のメールアドレスは  
daityu.sanko.kansai@gmail.com